



いじめ発見アンケートについて

年2回（6月と11月予定）、いじめ発見調査アンケートを実施しています。第1回いじめ発見調査の集計結果等についてお知らせいたします。

1 児童アンケートより

※低…1.2年、4中…3.4年、高…5.6年（人）

いじめの内容			自分が されている			周りの人が されている			前されたが 今はない 4年以上
			低	中	高	低	中	高	
1	①	冷やかされたり、からかわれたりする。	4	2	4	1	5	2	5
	②	悪口やいやなことを言われる。	10	13	12	1	9	8	7
	③	おどし文句を言われる。	3	3	1	0	2	0	2
2	④	友達や、周りの人から仲間はずれにされたり、無視されたりする。	6	7	2	1	2	1	11
3	⑤	わざと軽くぶつかられる。	7	3	2	1	3	0	11
	⑥	遊ぶふりをして軽くたたかれたり、けられたりする。	3	3	3	1	7	3	6
4	⑦	ひどくぶつかられたり、たたかれたり、けられたりする。	2	2	1	0	3	1	6
5	⑧	お金を要求されたり、おごるように言われたりする。	2	0	0	0	0	0	1
	⑨	持ち物をよこすように言われる。	1	0	0	1	0	0	3
6	⑩	お金や持ち物をかくされたり、ぬすまれたりする。	2	2	0	1	1	1	5
	⑪	お金や持ち物をこわされたり、捨てられたりする。	2	1	0	0	0	0	1
7	⑫	いやなことやはずかしいこと、危険なことをされたり、無理やりさせられたりする。	5	2	0	0	3	1	6
8	⑬	パソコンや携帯電話・スマートフォンなどで、悪口を書かれたり、いやなことをされたりする。	0	0	0	1	0	0	1
9	⑭	①～⑬以外のことで、いじめられていると感じること。	4	6	3	0	3	1	3

児童アンケートをもとにした対応

児童アンケートの実施後、各学級担任による児童への個別の聞き取りを行いました。また、電話や面談等により保護者の皆様から詳しい話をお聞きしました。学校では、各事案に対して事実を把握した上で関係する児童へ指導を行い、2学期に入ってから継続して見えています。

2 保護者アンケートより

(1) ここ1~2ヶ月のお子さんのことについて

質問事項 / 学年等	低学年	中学年	高学年
〈いじめの例〉に示されているような行為を受けている。	5	15	8

※類似したものをまとめたり、要約させていただいたりしました。また、これ以外にも個々に対応した事案もあります。

- ・友達から悪口や嫌なことを言われる。乱暴な態度や発言、いじわるな言い方をされる。
- ・嫌なあだ名をつけられ、注意してもやめてくれない。
- ・言葉の暴力があることを理解していない子、自分の言葉で人が傷つくことに気づいていない幼い子が多い。
- ・クラスの中に仲良しグループができていて、仲間外れにされた。
- ・遊ぶときに不平等な状況にされる。止めてと言っても聞いてもらえないことがある。
- ・文房具などの持ち物を勝手に使われたり、取られて届かない場所に投げられたりした。
- ・自分の意見が通らないと嫌なこと言われたり、知らんぷりされたりする。
- ・体のことについての悪口や、性にかかわるからかい、嫌がらせなどがあり心配している。発達や状況に応じた指導をしてほしい。
- ・持ち物の紛失がある。学校内の持ち物や気づかないうちの紛失など、本人の落とし物や忘れ物も含めて探している。
- ・授業がなかなか進まないこともあると聞いた。学級の様子を説明して、保護者とも共有して指導してほしい。

(2) 学校への要望等

- ・家庭でも親子のコミュニケーションを取るよう心掛けているが、学校での出来事は分からないことも多い。何か気になることがあったら教えてほしい。
- ・トラブルがあったらお子さんへの対応に加えて、各家庭でも対応しないといけないこともあるので双方の家庭に連絡し、保護者と協力して指導にあたってほしい。
- ・クラス内で友達が嫌な思いをしていることがあると先生が間に入って話し合いをしていると聞いていたので、親としては安心している。
- ・友達間で命令や束縛のようなものが見られるようだ。友達と適度な距離感を取ることができよう、指導をお願いしたい。
- ・相手との違いを受け入れ、相手を尊重できればいじめる気持ちにならないと思う。いじめる側の子に焦点を当て、改善をしていけるよう支援して行ってほしい。
- ・本当に具合が悪くてリラックスルームを利用したい時に友達からいろいろ言われ、行きにくいことがある。気持ちよく安心して行けるようにしてほしい。
- ・学年も上がると力も大きくなる。大きなケガなどが出る前に対応してもらいたい。
- ・外見や身体的特徴について差別的発言はしないという教育を要望したい。
- ・友達と関わる中で「こういうことを言われたら嫌だ」「されたら嫌だ」というところを学んでいけるよう、アンケートに終わらず、例などを具体的にあげながら話し合い、学べる場があればよいと思う。

3 いじめアンケート調査の結果に基づく現在の対応について

- (1) 「愛情と信頼」に基づくいじめのない学校・安定した学校をめざした教育活動を学校経営の重点として推進していきます。
- (2) 保護者の皆様と情報を共有し、指導に当たります。他者の心を傷つける言葉づかいや態度等については、見逃さずに指導し、学校全体に「いじめは許されない行為である」「すべての人を尊重する心と言葉が大切である」という土壌をつくります。
- (3) 教育課程全体において、いじめを生まない環境づくりと児童がいじめをしない態度や能力を身に付けることができるような働きかけに努めてまいります。

※引き続き、全教職員で子ども達を育ててまいります。ご心配なことがあれば、いつでもご相談ください。